

令和6年度「持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業」
「あおもり創造学」八戸高校 生徒の研究課題

1 プランの名称

八戸発見学～地元の「強み」を見てみよう～

2 研究課題（令和6年度1学年テーマ 抜粋）

	テーマ名称	内 容
1	①櫛引八幡宮で鎧模造品の着用体験	八戸駅に鎧の着用体験コーナーを設置し、南部氏や櫛引八幡宮に興味をもってもらおう。
2	②北日本造船～完成直後の船へ～	地域の学生を対象に、北日本造船を訪ねるツアーを企画する。 造船の作業工程の見学や、完成直後の船に乗る体験を実施し、八戸の産業に興味をもってもらおう。
3	③種差海岸で食べ尽くすツアー	種差付近の太平洋上で、海鮮丼やソフトクリームを食べられるツアーを企画する。 蕪島では奈良の鹿せんべいのように、ウミネコせんべいを作って販売し、観光客が楽しめるようにする。
4	④国際的絶滅危惧種オオセッカの保護	小学生以上を対象とし、干拓地の管理のため、ポンプによる水抜きやヨシ原への火入れを行う。 また、オオセッカの姿や鳴き声をSNSに投稿して、関心をもってもらおう。
5	⑤十和田湖を紙芝居で紹介	二重カルデラ湖である十和田湖のでき方や生息する動物について子どもたちに知ってもらおう。 そのために十和田町内の小学校、幼稚園、保育園などで紙芝居を上演する。